

東海ブロック雪崩講習会（おんたけスキー場付近）

2015年1月17～18日

参加メンバー：やまたくお、高木 Y（記）

1/17（土）曇りのち雪

前夜に浜松を発ち、道の駅で仮眠をしておんたけ休暇村に到着。やっぱり御嶽は遠い・・・

8時から会議室にて開校式とスケジュール説明があった。

受講生は17人で事前に3グループに振り分けられており、それぞれのグループで行動を開始した。

（やまたくおさんとは別グループで、リーダーによって内容も少し違ったようである）

9時に休暇村を出発し、すぐ裏のおんたけスキー場の入り口付近でビーコンの特性や誘導法に必要な行動理論の実技を体験した。

スクエア法ではビーコンの種類だけではなく、同じ機種でも誤差があり、自分のビーコンの誤差もはかる事ができた。



スキー場のチャンピオンコース付近に移動し、V次コンベアによる掘り出し訓練と雪断面観察・円柱テスト・コンプレッションテスト等を簡単に行った。

今年から講習会内容が大幅に変更になったそうで、雪崩搜索と雪観察を1年ごとにじっくり学ぶことになったということだった。

そのため、今年は本当なら上記のような雪観察の内容は省かれるはずだったのだが私のグループはリーダーの判断で行う事ができた。（やっていないグループもあったようだ）



昼に一旦全員集合し、お昼休憩。スタッフの方お手製の豚汁を頂き、赤味噌ベースに驚いていたのが浜松の私たちだけでアウェー感を感じた。（岐阜も赤味噌が普通だったっけ？）
午後からはスキー場斜面でのビーコン搜索、ブロービング、V次コンベアを繰り返し行った。
掘り出し後の搬出も簡単ではあるが行った。



搬出は雪崩講習の範囲内ではないという考えもあるそうで、ここまで行っていないグループもあったそうだ。
しかし、掘り出されてもその後の行動ができなければ意味がないのでは？
私のグループでは「ついでに」といって色々流れでやって頂けてラッキーだった。
17時まで雪が降り寒い中繰り返しビーコン搜索を中心に行い、休暇村に撤収。

その後はお風呂→夕食→各グループごとにまとめ→懇親会を行い暖かいお布団で就寝。

1/19（日）晴れ

7時から朝食。8時に休暇村を出発。

この日は受講生を2グループに分けての行動で、やまたくおさんと同じグループだった。

休暇村の裏の斜面を使い、シミュレーショントレーニングを繰り返し繰り返し行った。

自分のパーティーの捜索なのか？他パーティーの捜索なのか？何人巻き込まれたのか？

捜索に加わる人数は？

様々な状況により行動も変わるということ。

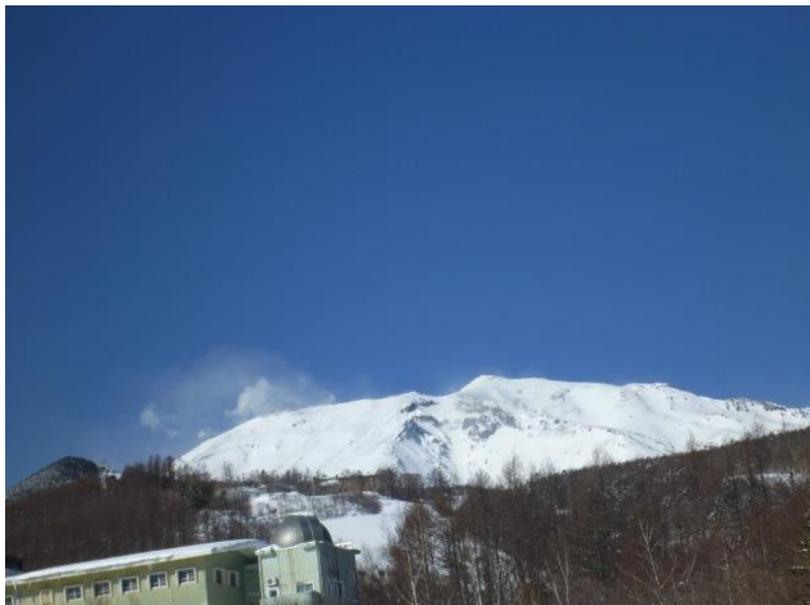


お昼におぜんざいを頂き、午後はV次コンベアのおさらいと埋没体験。

私は閉所恐怖症であることを再確認した・・・



14時に会議室にあつまり閉校式を受け、解散であった。



例年はスキー場のリフトを使って御嶽山の上部で講習を行っていたということだった。

昨年の御嶽山の噴火の影響で今年はスキー場も休業でありノートレースのスキー場下部を使用させて頂いたが、来年からは講習開催場所は考慮されるということ。

2日目は晴天で御嶽がきれいだった。噴火もまだしているようだ・・・

講習は黙祷をして行った。

雪山をやるなら雪崩に合う可能性はゼロではないのでこういった知識は絶対に必要である。

雪山の斜面を走り回り、数メートルも雪を掘り、人を引っ張りだし、運び出す・・・女性の立場からすればどこまで体力がもつのか？と思う。

しかし「もしもの時」体がすぐに動くように、繰り返しのトレーニングをしていきたいと思った。

今まで細切れの知識だったものが繋がってシミュレーションもでき、有意義な講習会参加だった。

何年も受講したくてなかなか予定が合わず今年ようやく受講できたのだが、参加して良かったと思う。

お世話になったスタッフのみなさん、ありがとうございました。

東海ブロックの講習会なのに静岡県からスタッフを出しておらずすみません。

(講師にと何度も勧誘されました・・・私はまだ無理ですので誰かベテランさん宜しくお願いします)